

C 大槌町民主体の高血圧予防のための減塩活動 「大槌町塩とりリボンキャンペーン」ご提案

1. 目的

本事業のこの部分Cの目的は、Bで町民の方々からいただいたご意見をもとに、大槌町で実施可能と考えられる減塩活動の企画を事業班にて考案し、町に提供することである。事業班は、町と食改の方々との話し合いの機会を持ち、次年度から食改の方々が主体となって段階的に進めていけるように助言することとした。

2. 方法

1) 提案内容の検討

事業班4名で後に示すスライドのとおり、キャンペーンの骨子を考えた。ポイントは次の3点である。

- a. 減塩活動が多く世代に動機づけられ、浸透するように、学校と家庭に働きかけ、大槌町の実態を知り、高血圧予防の大切さについて正しい知識を持った減塩活動の実践者を増やすこと（①塩とりレンジャープロジェクト、②塩とりキャラバンプロジェクト）
- b. まちぐるみで展開でき継続するように、イベントを企画し多くの世代に晴れの舞台を設けること、およびさらに他者に影響を与える人材を増やすこと（③大槌町塩とり大会：塩とり体験発表会、塩とりコンテスト、④塩とり講師任命プロジェクト）
- c. 活動の見える化をはかり、血圧の変化を継続して数値で確認できるようにすること（後に示したスライド4枚を両面パウチにして希望数提供、および塩とりリボンバッジ950ヶ、食改によるキャンペーン用ビブス100着、食改の方々に選んでもらった健康教育用リーフレット6種各500枚、自動血圧計30台、塩分濃度計38ヶ〔8ヶは高精度〕、1日の塩分摂取量測定器〔減塩モニタ〕30台を寄贈、および①②のプロジェクト用の血圧記録用紙を提案）

2) 提案内容の伝達と次年度の計画支援

提案内容を町と食改の方々にプレゼンテーションし、町の担当課と食改の方々には寄贈した機器の使い方演習を行うとともに、次年度以降に実施可能な活動について話し合った。

3. 結果

町長、副町長、福祉課健康推進班2名、食改役員5名に提案内容を伝えたところ好評価を得た。次年度から①②のプロジェクトから始め、順次展開することが話し合われた。

4. 考察

今後、食改の方々が主体となってキャンペーンを展開するには、町の専門職や必要時外部の支援者が協働し、引き続き経過の見守りや助言を行う必要がある。



平成 24 (2012) 年 2 月 20 日
大槌町碓川豊町長にキャンペーンのご提案



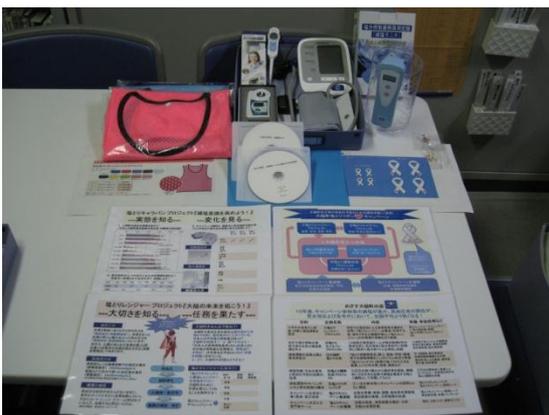
平成 24 (2012) 年 2 月 21 日
大槌町 (佐々木彰副町長) と食生活改善推進員協議会に塩とりキャンペーン用機器を寄贈



平成 24 (2012) 年 2 月 21 日
食改役員さんとの次年度計画の話し合い



同日 食改役員さんと機器類取り扱い演習



寄贈グッズ：
塩分測定器、自動血圧計
1 日塩分摂取量測定器 (減塩モニタ)
キャンペーン用ビブス
キャンペーン用塩とりリボンバッヂ
大槌町塩とりリボンキャンペーン提案シート
(真ん中の DVD はホームページ用)



大槌町 町長室前の海賊トラヒゲ
ひょっこりひょうたん島の歌が書かれている
どこかからの寄贈品とのこと